

令和4年度 障害者スポーツ推進プロジェクト

(地域の課題に対応した障害者スポーツの実施環境の整備事業)

報告書概要

石川県
令和5年3月

1. 地域が有する課題と対応方針

(1)課題

- ◆若年期における運動習慣の定着
- ◆学校卒業後のスポーツに取り組める環境づくり
- ◆コロナ禍におけるスポーツ活動機会の創出
- ◆障害者以外も巻き込んだ障害者スポーツの理解促進

(2)対応方針

- ◆特別支援学校や障害者福祉施設、総合型地域スポーツクラブ等におけるスポーツ教室の開催
- ◆オンラインでのスポーツ教室の開催
- ◆プロスポーツチームと連携した障害者スポーツイベントの開催・広報事業

(3)実行委員会の設置

開催回数 年3回開催 (①R4.7.19、②R4.10.21、③R5.2.16)

構成 13団体

障害者スポーツ関係者：石川県障害者スポーツ協会、石川県障がい者スポーツ指導者協議会

健全者スポーツ関係者：石川県スポーツ協会、石川県クラブ連絡協議会いしかわクラブゾーン、

石川県スポーツ推進委員協議会、石川県サッカー協会、石川県レクリエーション協会

障害者関係団体：石川県身体障害者団体連合会、石川県知的障害者福祉協会、石川県精神障害者家族会連合会、石川県特別支援学校校長会

行政機関：石川県健康福祉部障害保健福祉課、石川県県民文化スポーツ部スポーツ振興課

行政・障害者スポーツ関係者・障害者関係団体・総合型地域スポーツクラブ等健全者スポーツ関係者からなる協議会を設置し、障害者スポーツの更なる普及を図るための方策を検討

2. 具体の取組内容

(1) 特別支援学校や障害者福祉施設、総合型地域スポーツクラブ等におけるスポーツ教室の開催

事業目的：特別支援学校の体育・部活動や、障害者福祉施設の余暇活動等、総合型地域スポーツやクラブの自主教室に障がい者スポーツ指導員等を派遣することにより、児童生徒、施設利用者に対するスポーツ機会の提供・内容の充実を図ったほか、教員等に対し障害者スポーツのノウハウの普及を図ることにより、障害のある方々が身近な場所で生涯にわたって継続的にスポーツに取り組める環境の整備を図った。

区分	実施団体	種目	実績
体育	金沢大学附属特別支援学校	ボッチャ・バグギー	7回 232人参加
体育	県立ろう学校	弓道	5回 47人参加
体育	県立小松特別支援学校	ボッチャ・クロスカントリースキー・パラカヌー	4回 97人参加
体育	県立七尾特別支援学校	ウォーキングフットボール・バスケットボール	2回 76人参加
体育	県立小松瀬領特別支援学校	ボッチャ	1回 30人参加
その他	七尾市社会福祉協議会	ボッチャ・卓球バレー	1回 23人参加
その他	石川県障害者ふれあいフェスティバル	ボッチャ	1回 40人参加
部活動	県立いしかわ特別支援学校	陸上・フライングディスク・サッカー	45回 537人参加
部活動	県立七尾特別支援学校	陸上・卓球	13回 38人参加
総合型クラブ	かなざわ総合	陸上・ソーシャルフットボール	48回 505人参加
総合型クラブ	NASPO	陸上	24回 169人参加
合 計			151回 1,794人参加



開催結果

特別支援学校や総合型地域スポーツクラブを中心に、延べ151回指導員を派遣し、1,794人の方にご参加いただいた。アンケート結果においては、「楽しかった」や「まあまあ楽しかった」と回答された方が9割を超えているほか、「また参加したい」と回答された方も9割を超えており、参加された方々には概ね満足いただけた。

一方で、障害者福祉施設においては、新型コロナウイルス感染症対策のため外部と交流を中止している施設も多く、スポーツ教室の開催が難しかった。また、総合型地域スポーツクラブにおいては、障害のない方の参加者が少ないため、今後は周知を強化し、参加者を増加させることで、障害のある方もない方もスポーツを通じて共に楽しめる環境を整備していく必要がある。

(2) オンラインでのスポーツ教室の開催

事業目的：特別支援学校において、オンラインでのダンス教室を開催することにより移動を伴わない形でスポーツ参加機会を創出する。

この取り組みにより、障害のある方々が身近な場所で生涯にわたって継続的にスポーツに取り組める環境の整備を図る。

種 目：ダンス（オンライン）

講 師：石川県レクリエーション協会 中嶋 佳奈恵氏

実施団体：3校（七尾特別支援学校・輪島分校・珠洲分校）

実 績：3回84人参加

- 内 容：① 講師が準備したダンス動画を朝の体力づくりの時間を活用して各校で練習
② 中間発表として講師によるオンライン指導を実施
③ 最終日には指導員と3校をオンラインでつなぎ、これまでの練習の成果を発表



開催結果

障害のある方々にとって、外出・移動等を伴わない形でスポーツに取り組む機会を創出することができたほか、指導員にとっても移動の負担がなく、また、新型コロナウイルス感染症の影響を受けず、安心して開催することができた。

参加した教員からは、

- ・約1か月の練習を経て、自然に体が動く生徒が多くなったと感じている

といったご感想をいただいております。オンラインにおいても対面と同等に指導ができた一方で、学校と指導員のオンライン接続にあたり、ネットワークが一時的に不安定になるなど、ハード面での課題も感じました。

今後は、特別支援学校のみならず、コロナ禍で対面での指導が難しい障害者福祉施設においても、このような取り組みを進めていく必要がある。

(3) プロスポーツチームと連携した障害者スポーツイベントの開催・広報事業

事業目的：プロスポーツチーム公式戦を会場として、障害者スポーツ観戦イベントや障害者スポーツ体験ブース等を出展するほか、トップチーム選手に協力いただき、障害者スポーツを体験する映像を製作し、チーム公式HPやSNSで発信することで、スポーツを通じて共生社会への理解を促進させる。

実施内容：プロスポーツチーム選手出演によるパラスポーツ体験動画の配信

公式戦当日における障害者スポーツイベントの開催

連携先：ツエーゲン金沢（サッカー・J2）、金沢武士団（バスケットボール・B3）

ツエーゲン金沢（プロサッカー・J2）



◆体験動画の配信

内容：選手出演による「ゆるスポーツ」の体験動画を配信し魅力等をPR

視聴数：1,100回 ※令和5年3月1日現在（ツエーゲン金沢公式YouTubeチャンネル内）



◆公式戦当日イベント

開催日：令和4年10月2日（日）

場所：石川県西部緑地公園陸上競技場

内容：「ゆるスポーツ」体験会の開催

ステージイベントにおける「ゆるスポーツ」の魅力PR

（小松ゆるスポーツ協議会 坂井さゆり氏）

参加者：45組91人（延べ・ブラインド麺モリー64人、くつしたまいれ84人）

ご意見：ブラインド麺モリーでは、目隠しをして白杖を頼りに点字ブロックを歩くことで、視覚障害者の大変さがわかるきっかけとなった



※ブラインド麺モリー：スタート地点で持った小松うどんの重さを記憶して、アイマスクをした状態で白杖を頼りに点字ブロックを歩き、ゴール地点でスタート地点で持ったものと同じ重さの小松うどん探しあてる種目

※くつしたまいれ：ばらばらにちらばった靴下から、同じ柄の靴下を探して、上手にたたんで、カゴに投げる種目

金沢武士団（プロバスケット・B3）



◆体験動画の配信

内 容：選手出演による「車いすバスケットボール」の体験動画を配信し魅力等をPR

視聴数：155回 ※令和5年3月1日現在（石川県障害者スポーツ協会公式YouTubeチャンネル内）

※ほかに、地元テレビ局での夕方ニュースでも放映（10分程度）



◆公式戦当日イベント

開催日：令和5年2月18日（土）

場 所：金沢市総合体育館

内 容：デフバスケットボール、車いすバスケットボール体験会

車いすバスケットボールのエキシビジョンマッチ

2025年東京デフリンピック競技大会PR [ゲスト：植松隼人氏（デフリンピック準備室プロデューサー）]

地元高校生による手話パフォーマンスの実施、聴覚に障害のある方を対象とした試合観戦会の実施 など

ご意見：デフバスケットボール体験してみても、会話ができないため近くに寄って指で指示するほかなく、難しかった

車いすバスケットボールエキシビジョンマッチでは、選手たちのプレーに迫力を感じ、楽しかった



開催結果

プロスポーツチーム選手出演による障害者スポーツ体験動画を動画配信サイト（YouTube）を活用して配信することで、障害者スポーツの魅力を発信したほか、イベント当日の障害者スポーツ体験会では、視覚障害や聴覚障害の特性を種目に取り入れることで、参加者に対して障害に対する理解を促すことができた。

※ ゆるスポーツ体験会（ツエーゲン金沢）：アイマスクをした状態で白杖を頼りに点字ブロックを歩く種目を実施

※ デフバスケットボール体験会（金沢武士団）：耳栓をして聞こえにくい状況の中でバスケットボールを実施

また、金沢武士団と連携したイベントでは、手話通訳や要約筆記に対応した試合観戦会や手話啓発、デフリンピック開催PR等を行い、来場者からは、

・イベントを通じて、手話通訳等にも配慮されており、共生社会を身近に感じることができた

・デフリンピックが開催されることは知らなかったため、今後応援していきたいと思った

といったご感想をいただいております、スポーツを通じて共生社会を実感いただくことができた。

お問い合わせ先

石川県 健康福祉部 障害保健福祉課
地域生活支援グループ
〒920-8580
石川県金沢市鞍月1-1
TEL 076-225-1426
FAX 076-225-1429